

腫瘍マーカーのご案内

当院で行っている腫瘍マーカー検査の内容は以下の通りです。

1. 腫瘍マーカーの内容

腫瘍ができると、特殊な物質が多く産出され、血中や尿中に出現します。

これらの物質を検査することにより腫瘍を発見するスクリーニング検査です。詳しくは以下のような種類の検査があります。

CEA	各種のがん（主に消化器がん）の発見に役立ちます
AFP	肝細胞がん等の発見に役立ちます
CA19-9	膵がんや胆嚢・胆管がんなどの血清中に著しく増加することから、消化器系がん、特に膵がんの腫瘍マーカーとして広く用いられます
CA125	卵巣がんに対して特に敏感に反応するため、そのスクリーニング検査や経過観察、治療効果測定を目安とされています
PSA	前立腺に特異的な腫瘍マーカーで前立腺がんの発見に役立ちます。
SCC	扁平上皮がんの特異性を示し、肺がん、食道がん、子宮がんの発見に役立ちます
NSE	肺がんの発見に役立ち、肺門部の小細胞がんが推測されます

2. 腫瘍マーカーのコース

(税込み)

腫瘍マーカーコース名	内容	料金
がん3種類	CEA（胃）、AFP（肝）、CA19-9（膵、胆道）	4,212円
肺がん腫瘍マーカー2種	NSE、SCC	2,916円

※ ご加入の保険組合の契約により、PSA、CA125が含まれない場合があります。

ご希望の方は、単独項目の実施をお勧めします。

以上